

放課後等デイサービス自己評価表

公表

公表：令和 7年 1月 22日

事業所名 放課後等デイサービス あいりす

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	2		利用児童が落ち着いて過ごせるよう年齢や活動内容に応じて活動スペースを分けている。 指導訓練室に手洗い場がなく、別の建物に行く必要がある。
	2	職員の配置数は適切であるか	4			有資格者を適正に配置している。 活動スペースによって職員の配置に偏りがないように配置を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		2	2	室内においてはほぼバリアフリーであるが、入り口の段差に階段がついていない。今後は階段やトイレの手すりの設置も検討していく。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	1	2	1	朝礼にて前日の振り返り、一日の目標について話し合いを行っているが、まだ全スタッフにPDCAの理解が浸透しているとはいいがたい。今後の職員研修等でより理解をできるよう努めていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			4	今回が初回実施。 保護者の方の意見に共有し、改善につなげていけるよう全スタッフでの検討を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			4	今回が初回実施。 事業所HPに掲載予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			4	第三者による外部評価はできていない。 今度第三者による評価を行えるよう評価依頼を検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			毎月職員会議、職員研修の機会がある。虐待防止や高度行動障害等の外部研修への参加の機会も提供されている。 今後は研修内容の検討も行っていく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			児発管が保護者に適切なアセスメントを行い、支援計画の作成を行っている。保護者の方から聞き取りを行って内容をスタッフで共有し共通認識のもと支援の提供を行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			標準化したアセスメントシートを児発管が作成しスタッフへの情報提供を行っている。全スタッフ共通認識のもと支援を提供できるよう心がけている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	2		基本的な活動プログラムは児発管の方で作成し、作成案をもとに活動プログラムの立案を全スタッフで行っていく。スタッフ一人一人の自己研鑽にも努めながら今後はより立案しやすい環境づくりも行っていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2	2		各児童の特性、状態をスタッフ間で話し合いながらマンネリ化することのないように活動プログラムの立案を行っていく。今後はよりスタッフ全員が違憲しやすいような環境づくりも行っていく。

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			学校終了時は宿題や個別療育をメインに、休日等は外出等を積極的に行い、地域参加や社会性の向上を目指すような支援の提供を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	2		一人一人の児童の状況に応じた無理のない活動参加を組み込んだ支援計画書の作成を自発管が行っている。今後はより情報の背景までスタッフで認識したうえで支援に入る。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	2		午前中にスタッフ全員でミーティングを行い支援に入るよう心掛けているが、変更等があった場合の話し合いは不十分な面もあると思われる。今後はより一層綿密な情報共有が行えるよう環境を整えていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		4		支援後に打ち合わせを行っているが、時間の都合上翌日朝に繰り越す場合もある。今後はできる限り当日中に全スタッフによる振り返りを行うようにしていきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			日々の記録や連絡帳には当日の活動内容など具体的に記載するようにしている。特記事項等があった場合も各スタッフの携帯端末よりいつでも入力することができる、
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			児発管による保護者の方との面談を行っており、その都度スタッフ間でのケース会議の開催を行い支援状況や変更等は全スタッフで情報共有をできるようにしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		3	1	ガイドラインの総則に沿った活動bを提供するよう心掛けているが、まだ活動に偏りがあるようにも思える。今後はより広く展開した支援の提供ができるよう心掛けてい
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			現在児発管の方が積極的に参加をしている。今後は直接支援員も参画を予定している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			送迎時間の変更や早退された際の電話連絡や、お迎えに行った際の学校での様子の聞き取りなど密に行っている。今後も継続して連絡調整を行える関係性を継続していきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			4	該当児童無し
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			4	初年度のためできていない。来年度実施検討。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			4	該当児童無し
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	3		現状管理者のみが専門機関との連携を行っているので今後は全スタッフに周知できるよう環境を整えていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			4	外出先での交流等はあるが、事業所としての交流は現在行っていない。今後交流を検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	1		管理者が定期的に参加し情報交換を行っている。今後は管理者だけではなく直接支援員も一緒に参加を検討していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			日々の送迎時に児童の状況について保護者の方から様子を聞くようにしている。管理者がLINE等で情報を聞き取りを行い全スタッフ共通理解で支援に入れるよう心掛けている。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		2	2	送迎時や面談時に状況に応じて助言等は行っているがペアレントトレーニングとしての実施は現状行っていない。今後行えるように環境を整えていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			契約時に管理者の方から丁寧に伝えている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			電話やラインなどを活用して保護者の方からいつでも相談ができるような環境を整えている。今後も送迎時や連絡ツールを使い保護者の方が相談しやすい環境づくりに取り組んでいく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			4	保護者同士の連携ができる期間は現状提供できていない。今後相貌に合わせて随時検討予定。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			苦情相談窓口を設置しており、保護者の方からの要望には迅速に対応できるよう心掛けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			4	現在連絡事項などは個別に連絡を行っており、会報等の発行は行っていない。今後は会報やネットでの情報発信を検討している。
	35	個人情報に十分注意しているか	4			個人情報に係る書類は鍵付きの書庫にて保管を行い、全スタッフ業務上知りえた情報は外部に口外しないよう誓約書を交わしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			児童については特性を考慮した支援を検討し行っている。保護者の方との情報伝達は送迎時やLINEなどを通じて行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	2	近隣の住民の方との関り（日々のあいさつ等）や地域のイベントへの参加は行っているが、事業所の行事に招待等は行っていない。今後検討していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1		各種マニュアルを玄関前に設置し誰でも読めるようにしている。スタッフへの周知はできているが保護者の方への周知は十分とはいえない面もある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			6月に1回避難訓練を行っている。職員向けで非常時の研修等も行っている。今後は消防署などに立ち合いをしてもらい、より具体的な訓練を行えるよう検討していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			虐待防止に関する研修を行っている。具体的事例検討なども踏まえながら全スタッフに共通理解を図っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	2		保護者の方に対してはやむを得ず身体拘束を行う状況について具体的例をあげて説明を行い了承を得ており、計画書の方にも記載を行っている。現在やむを得ず身体拘束を行ったことはないが、身体拘束を行った場合は速やかに保護者や関係各所に報告を行う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			食物アレルギーについては契約時に保護者の方から聞き取りを行い、アセスメントシートに記載の上全スタッフで共通理解を行うようにしている。

43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	2		ヒヤリハットに関するマニュアルをもとに事例や予防策をスタッフ間で振り返りを行うようにしている。
----	----------------------------	---	---	--	---